

分野別計画

分野別計画

分野別計画では、10の政策分野を設定し、まちの将来像の実現のため、町の現状や課題を踏まえて方向性を整理した上で具体的な取組内容とその進捗を測る指標を定めています。

指標の設定にあたっては、Well-Being指標を活用し、町民の実感に基づいた進捗状況の把握に努めます。

横断的視点

分野別計画において、社会の状況や国際情勢を踏まえ、これからのまちづくりにおいて、1つの分野だけでなく組織をまたがって取り組むべき5つの横断的視点を設定しました。

これらの視点を常に意識して、分野別計画の推進に取り組んでいきます。



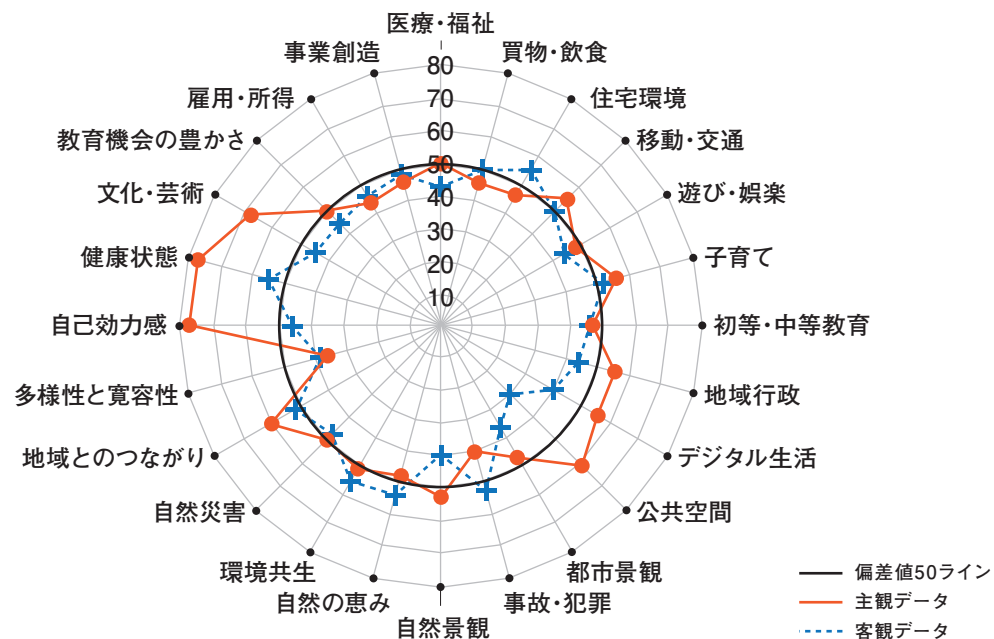
※オープンデータ…国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう公開されたデータ

Well-Being指標について

Well-Being指標は24の項目が「生活環境」「地域の人間関係」「自分らしい生き方」の3分野に分かれており、それぞれアンケートによる主観指標、オープンデータ※による客観指標が設定されています。

粕屋町では、Well-Being指標を計画の進捗評価に活用し、町全体で町民の幸福や生活の質を重視した施策の推進に努めます。

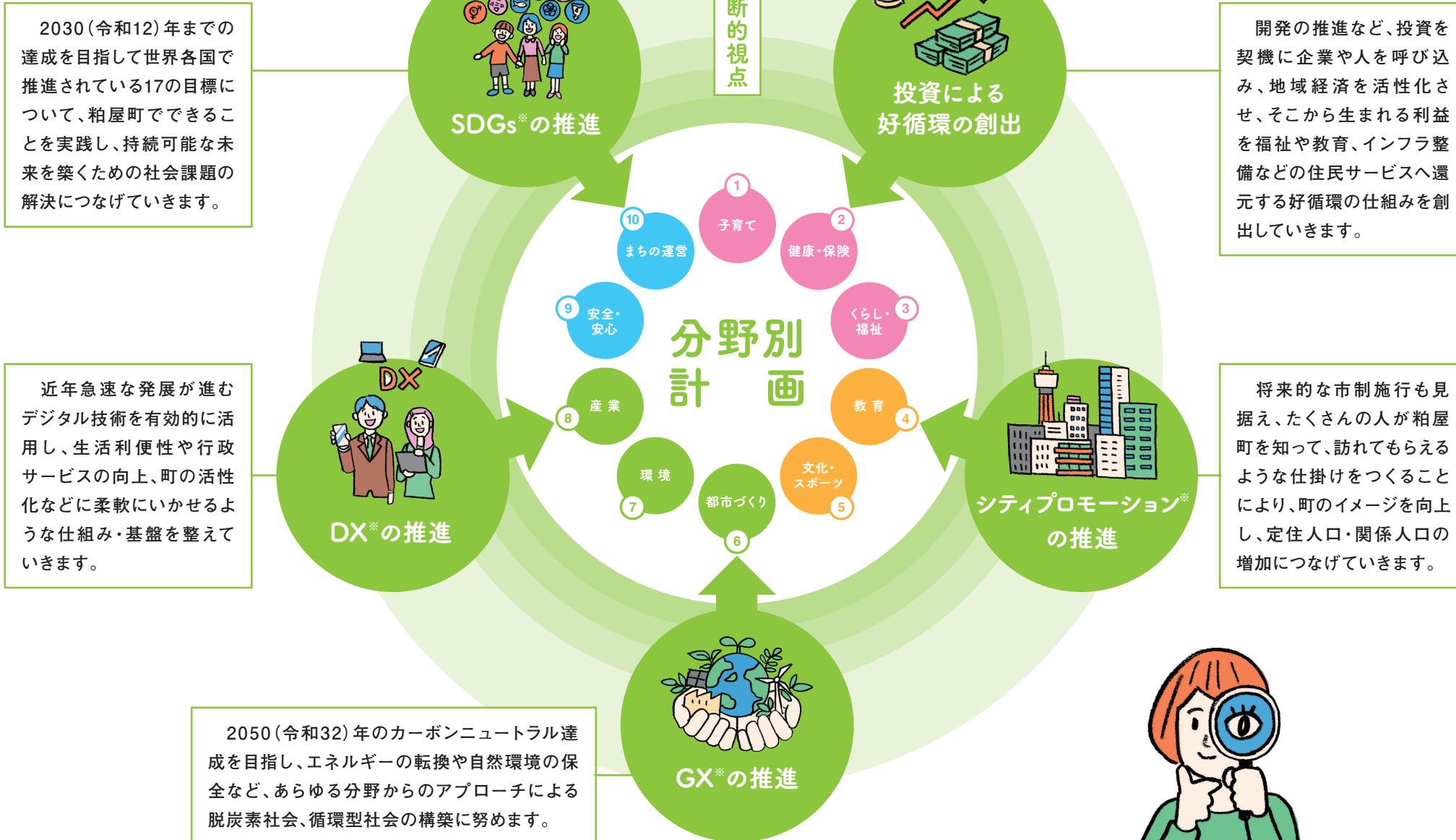
粕屋町のWell-Being指標 (R7)



Well-Being個別調査より

- ✓ 町民の視点から数値化された指標により、町の暮らしやすさ・幸福度を測ることができます。
- ✓ 主観・客観それぞれからの評価と他自治体との比較により、町の特徴が明確になり、個性を磨くまちづくりにつなげることができます。

■分野別計画と横断的視点の関係性



※SDGs…サステナブル・デベロップメント・ゴールズの略で、すべての人々にとってより良い、より持続可能な未来を築くため、17の分野ごとに掲げられた目標のこと
 ※DX…デジタル・トランスフォーメーションの略で、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること
 ※GX…グリーン・トランスフォーメーションの略で、化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動のこと
 ※シティプロモーション…地域住民の愛着度の形成により、地域の知名度やイメージの向上、経営資源の獲得を目指す活動のこと



分野の概要

1 子育て P. 27~32



施策の項目

- ① 子育て家庭支援のこと
- ② こどもの居場所のこと
- ③ 保育のこと
- ④ 乳幼児健診のこと
- ⑤ 療育支援のこと

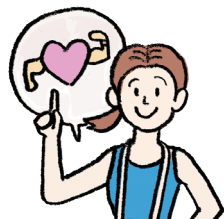


2 健康・保険 P. 33~36



施策の項目

- ① 健康のこと
- ② 保険のこと
- ③ 医療費助成のこと



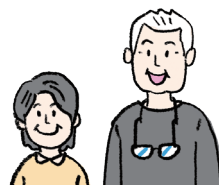
住民福祉部

3 暮らし・福祉 P. 37~42



施策の項目

- ① 高齢者支援のこと
- ② 介護保険のこと
- ③ 障がい者支援のこと
- ④ 社会福祉のこと
- ⑤ 窓口サービスのこと



4 教育 P. 43~46



施策の項目

- ① 教育環境のこと
- ② 食育のこと
- ③ 青少年育成のこと



5 文化・スポーツ P. 47~50



施策の項目

- ① 生涯学習・文化のこと
- ② 歴史のこと
- ③ 図書館のこと
- ④ スポーツのこと



教育部

6 都市づくり P. 51~54



施策の項目

- ① 都市整備のこと
- ② 公共交通のこと
- ③ 道路のこと
- ④ 水道のこと



7 環境 P. 55~60



施策の項目

- ① ゼロカーボンシティのこと
- ② 5Rのこと
- ③ ワンヘルスのこと
- ④ 公園のこと
- ⑤ 水環境のこと



都市政策部

8 産業 P. 61~64



施策の項目

- ① 商工業のこと
- ② 農林業のこと
- ③ 企業誘致のこと



9 安全・安心 P. 65~68

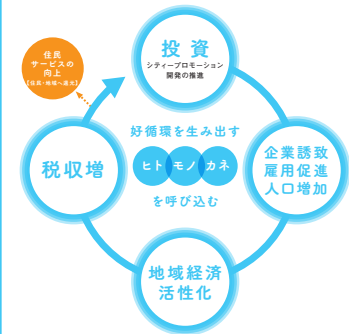


施策の項目

- ① 防災のこと
- ② 防犯のこと
- ③ 交通安全のこと
- ④ 人権のこと



10 まちの運営 P. 69~74



施策の項目

- ① 行政経営のこと
- ② シティプロモーションのこと
- ③ まちづくり活動のこと
- ④ DXのこと
- ⑤ 財政のこと
- ⑥ 財産管理のこと
- ⑦ 選挙のこと
- ⑧ 組織運営のこと

総務部

分野別計画の見方

次ページ以降の分野別計画の見方を説明します。

分野の概要

分野

分野別計画では、取組の内容を10の分野に分類し、分野ごとに概要・現状と課題・すべきことを整理しています。

分野を代表する指標

各分野の進捗を評価する指標の中から、主要なものを掲載しています。

関連するSDGsのゴール

各分野の取組が関連するSDGsの17の目標をアイコンで示しています。

粕屋町データ集へのリンク

各分野の統計データ等をまとめた「粕屋町データ集」をQRコードのリンク先で公開しています。

分野 1 子育て



関連するSDGsのゴール



将来像実現のために

まちの将来像実現に向けて、各分野で取り組むまちづくりの方針と、その考え方を示しています。

将来像実現のために

子どもたちが健やかに成長できるまちづくりを進めます

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで、誰もが安心して子育てができ、子どもたちが健やかに夢や希望をもって成長できるまちをつくれます。

分野を代表する指標

Well-Being 偏差値

子育て支援・補助が手厚い

現状値 (R7)	目標値 (R12)
53.2	59.9

かすやこども館来館者数

現状値 (R6)	目標値 (R12)
42,901人/年	45,000人/年

Well-Being 偏差値

子どもたちがいきいきと暮らせる

現状値 (R7)	目標値 (R12)
58.4	65.4

保育所等における待機児童数
(私的理由待機児童数)

現状値 (R6)	目標値 (R12)
0 (105)人	0 (24)人

Well-Being指標

Well-Being指標の主観指標から選定した指標は、Well-Beingマークを付けています。この指標は偏差値で設定し、以下のように目標値を設定しています。
平均未満→平均値(偏差値50)
平均以上→福岡都市圏内1位
(現在、粕屋町が1位の場合現状維持となります)



現状と課題

各分野に関する現在のまちの状況を分析し、将来像の実現に向けて解決すべき課題を整理しています。

現状と課題

現状と課題



子育て家庭支援

- 核家族化や地域の関係性の希薄化により子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、妊娠・出産・子育てに関するニーズは高い状況にあるため、すべての子どもと家庭に対して、予防的かつ個々の家庭に応じた支援を切れ目なく行う必要があります。さらに子育てに困難を抱える家庭を支援するため、児童虐待への早期対応や支援体制の強化が求められています。



こどもの居場所

- 粕屋町にはかすや子ども館をはじめとした子育て支援や交流の場があり、放課後や長期休み期間のこどもの居場所となっています。近年は、様々な体験機会の提供を求める声が多くなっており、引き続き多様な居場所づくりに努めるとともに、かすや子ども館がより利用しやすくなるような工夫が必要です。



保育

- 出生数が減少し、未就学児人口が減少傾向にある一方、ライフスタイルの多様化に伴い保育ニーズが多様化し、様々な理由により保育所に入所できていない子どもがいます。また、保育の担い手が不足している状況にあり、安定した人材確保に向けた働きやすい環境づくりを進め、柔軟な保育サービスの整備に努める必要があります。



乳幼児健診

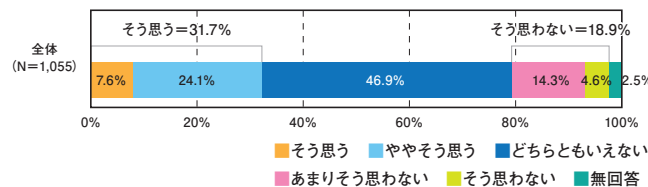
- 乳幼児の発育・発達状況把握を行うとともに保護者の不安や悩みに寄り添う機会として乳幼児健診を実施していますが、受診控えや未受診のケースが見受けられます。受診を促進し、乳幼児の発育・発達状況に合わせた支援を早期から行い、保護者の不安感の軽減につなげていくことが重要です。



療育支援

- 発達に遅れや偏りがある幼児への支援においては、その発達特性が多様化しており、より丁寧な対応が求められています。早期発見と相談支援につなげる体制の充実に加え、保護者の理解・受容を支える取組や、関係機関との連携強化が必要です。

【町民意識調査(R6)】子育ての環境が整っていると思いますか



図表

各分野の現状・課題を理解する上で参考となるデータを掲載しています。

住民・団体等

- 子育て家庭の交流の場の提供や支援を必要とする子どもへの働きかけなど、地域一体となった子育て支援に取り組む。
- 地域の行事に積極的に参加し、子どもと関わる機会をつくる。

行政

- 地域での交流や支援の取組と連携し、子育てに役立つ情報を分かりやすく発信する。
- 親子で参加できる教室やイベントを開催する。

住民・団体等の役割

各分野において、住民や団体等がそれぞれの役割をいかして行政とともに取り組めることを記載しています。

分野別計画の見方

重点プロジェクト

特に重点的に実施すべき「重点プロジェクト」に紐づく「すべきこと」であることを示しています。
(重点プロジェクトについては、p.77を参照ください。)

すべきこと(施策)

すべきこと

各分野における将来像実現のために必要な施策をすべきこととして設定しています。

取組

すべきことを達成するための具体的な取組を設定し、主な取組内容を整理しています。



すべきこと 1



重点プロジェクト

すべての妊産婦・子育て家庭を支援します

取組.1 | 一体的な相談支援体制の構築

- 母子保健と児童福祉の機能を合わせた「こども家庭センター」を中心に、家庭や地域の状況を的確に把握しながら、子育て世帯への一体的な相談支援を進め、困難を抱える家庭が孤立しないような支援体制を構築します。

取組.2 | 児童虐待の防止

- 児童虐待防止の啓発に取り組むとともに、地域の関係機関と連携した支援体制を整備します。
- 虐待を含む通告や相談に迅速に対応し、こどもやその家庭が抱えている課題や状況を把握したサポートプラン*を作成して、ニーズに応じた支援を行います。



*サポートプラン…妊産婦や乳幼児をはじめ、子育て家庭におけるニーズやリスクを整理し、支援内容・目標を記録した支援計画書



すべきこと 2

こどもの居場所をつくります

取組.1 | 子育て世帯の交流機会の提供

- かすやこども館、認可保育所での子育て支援ルーム、公民館での親子サロン等によるこどもと保護者の交流機会を提供し、子育ての相談や保護者間での情報交換ができる場所を創出します。

取組.2 | かすやこども館の充実

- こどもの居場所、子育ての拠点であるかすやこども館において、創作・運動など親子で楽しめるイベントや講座を充実させ、こどもと保護者がともに学び・成長できる場を提供します。
- インターネット予約等、利用者の利便性を高めるための取組を行います。

取組.3 | 新たなこどもの居場所づくり

- ニーズの高い年代や利用目的などを捉え、必要性の高い分野において「居たい」「行きたい」「やってみたい」こどもの居場所づくりを進めます。
- 様々な関係機関と連携し、こどもも子育て世代もホットできる、新たなこどもの居場所を創出します。

第6次粕屋町総合計画ができるまで
～Well-Being編～

世界的に注目されているWell-Being(ウェルビーイング)を取り入れました!

「第6次粕屋町総合計画」は策定の過程で、Well-Beingを取り入れています。

Well-Beingとは、心豊かな状態を指しており、世界において、経済が発展・成熟したいま、「モノやサービスがどれだけ売れたかという経済の豊かさが幸せであるとは限らず、心の豊かさや幸福を重視する社会が望ましい」との価値観が広がっています。

Well-Being ① 日本においても広まっています!

- 「物質的な豊かさ」ではなく、一人ひとりが「実感できる豊かさ」、いわゆる主観的なWell-Beingを重要視しようという動きがあり、日本でもその動きに注目が集まっています。



Well-Being ② 粕屋町の新たな目標です!

- 国においても、Well-Beingの活用を自治体に呼び掛けており、粕屋町ではWell-Being指標を総合計画上の指標へと取り入れ、総合計画の進捗が住民の幸福度につながることを目標に掲げています。

【Well-Being指標のレーダーチャート】▶

偏差値の高低や主観指標と客観指標のギャップに着目することで、まちの特性の把握が可能

- 偏差値50ライン
- 主観データ
- - - 客観データ

